

1 教科について

国 語

昨年度の課題

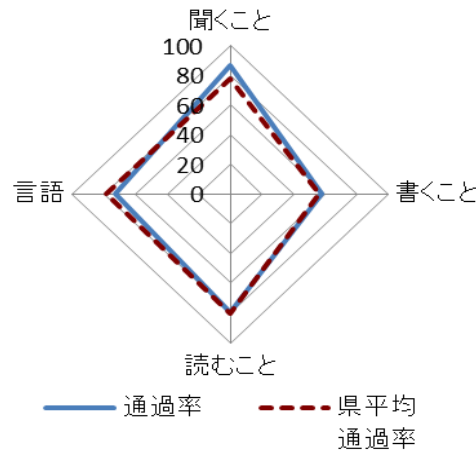
- ① 登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読むことができにくかった。
- ② 話の要点を聞き取ることができにくかった。

昨年度の課題を受けて  
具体的に取組んだ事項

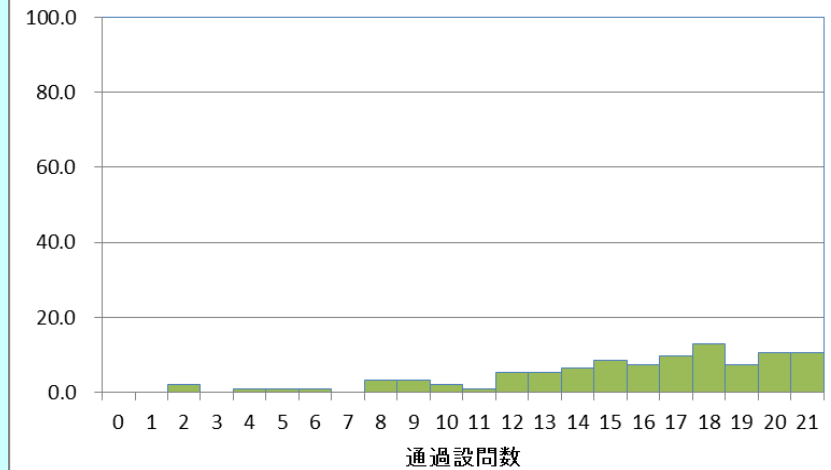
- ① 物語文の指導において、登場人物の行動や心内語に着目して線を引かせながら文章を読ませる機会をつくった。
- ② 全校朝会などでの話を大事なことを聞き漏らさないようにして聞き、後に要点をまとめて書く習慣を付けた。
- ③ のびっこタイムや朝学習の時間に、漢字・ローマ字・主語述語の関係や辞書のひき方について反復練習を行った。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 74.4% 県平均 75.8%

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの児童割合(国語)



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査  
◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎ 漢字の習得が十分にはできていない。
- ◎ 説明文教材では、各段落の内容を理解し、段落相互の関係を考えたり、その段落が文章全体の中で果たす役割をとらえたりすることができにくい。
- ◇ 提示された複数の情報の目的や意図を理解し、それらを結び付けたり、意図を推論したりしながら、自分の考えをまとめることができにくい。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 【昭和北中学校小中一貫して取り組むこと】  
指示語・接続語・文章表現等に注意して読ませることによって、段落相互の関係をとらえさせる。
- ② 漢字の習得については、各学級の児童の実態把握を行い、止め、はねなど、細部まで注意させながら、定着に向けて工夫して指導する。また、のびっこタイムに漢字ドリルを活用し、読み書きの徹底を図る。
- ③ 全学年において習熟度別学習の時間を設定し、個の能力に応じた学習活動を展開することで、学力の定着を図っていく。

来年度の目標値

- 通過率70%以上の児童の割合を70%以上にする。

# 指導方法等の改善計画について

## 算 数

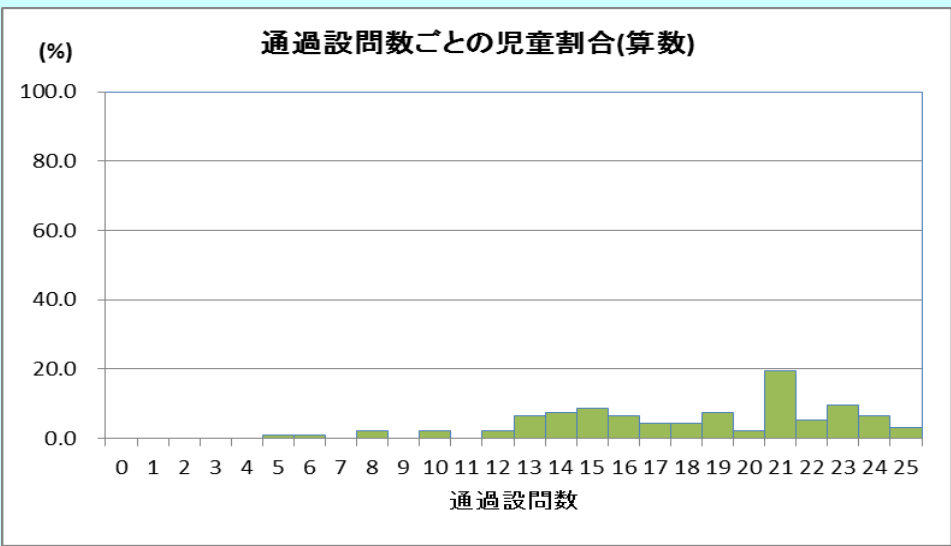
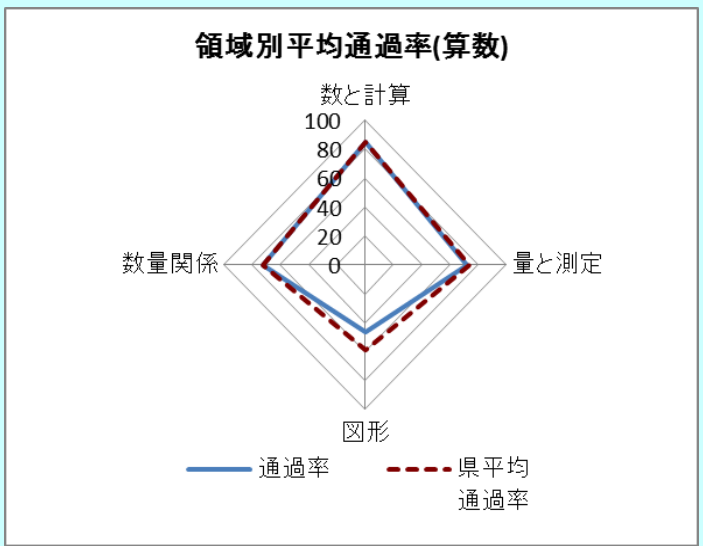
### 昨年度の課題

- ① 図形の面積の求め方を工夫して考えることができにくかった。
- ② 四角形の定義, 性質から図形を判断することができにくかった。
- ③ 重さ (1 kg) などの量感をとらえることができにくかった。

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

- ① 具体物や視聴覚機器等を活用した, 算数的活動を通して, 平面図形や空間図形についての基礎的な概念や性質についての理解を深めるようにした。
- ② 日常生活や自然事象と結びついた学習内容となるように, 体験的活動を積極的に取り入れ, 量的な感覚を豊かにしていくようにした。
- ③ のびっこタイムや朝学習の時間を活用し, 数と計算の反復練習や長さ・重さなどの量感が身につくような指導を行った。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **72.7%** 県平均 **75.0%**



### 重点課題

- ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査
- ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎ 図形の定義や性質を十分に理解することができていない。
- ◎ 複合図形の求積において, 図形を切って移動させるなど, 念頭操作をし工夫して考えることができにくい。
- ◎ 単位分数のいくつ分という表し方を含めて, 分数の概念が定着していない。表から読み取った変化の様子を一般化して, 式に表すことがむずかしい。
- ◇ 場面の状況や問題の条件に基づいて, 求め方や判断した理由を必要な言葉や数を用いて記述することができにくい。

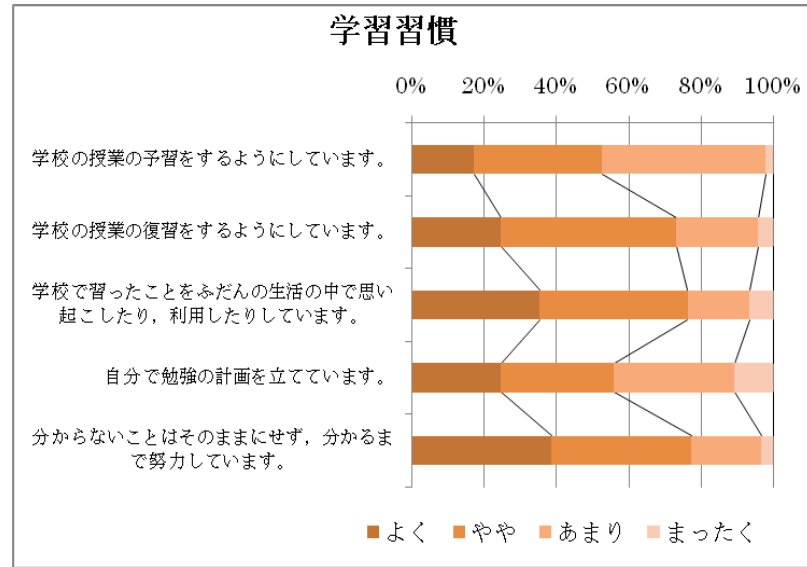
### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 【昭和北中学校小中一貫して取り組むこと】  
前時の学習を想起する場面や, 問題解決の方法を考えたり意見交流をしたりする場面において, 意図的に用語を使用させて, 理解を深める。
- ② 図形の定義を習熟できるよう, のびっこタイムで反復練習をしていくとともに, 掲示物を活用し, 視覚的なイメージを捉えさせるようにする。面積や体積を求める際には, ことば, 数, 式, 図を対応させて説明させるようにする。また, 図形を分けたり, 継ぎ足したりするイメージを持ちにくい児童には具体物を用いてイメージさせるようにする。
- ③ 式と図を関連させて説明する経験を持たせるとともに, 解かろうとして聞く学級集団の雰囲気づくりをする。また, 一般化することのよさを実感させる指導を工夫する。

来年度の目標値 ○ 通過率70%以上の児童の割合を70%以上にする。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

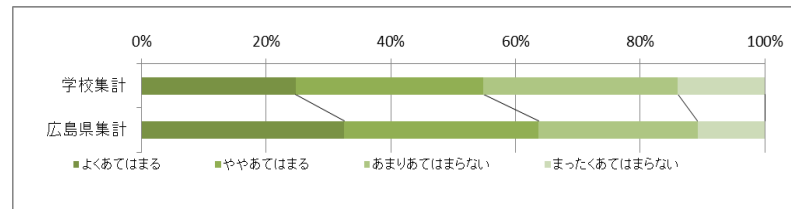


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎◇ 学校の授業の予習・復習が十分にできていないと同時に、計画的に学習を進めることができていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【昭和北中学校小中一貫して取り組むこと】「家庭学習の手引き」等を使って、予習復習の習慣を身に付けさせる。</li> <li>予習・復習等の家庭学習を意欲的に取り組ませるために、個々の発達段階に応じた家庭学習の方法について指導し、計画的に学習に取り組むことができる課題（宿題）提示にも工夫を行う。</li> </ul>

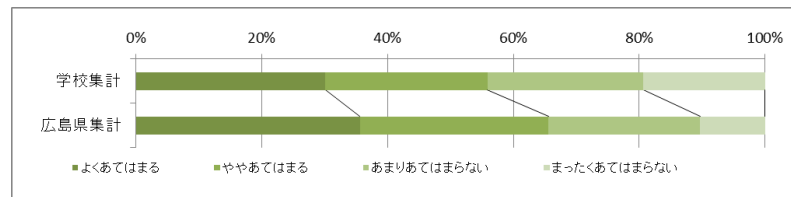
来年度の目標値	目標値
	「学校の授業の予習をするようにしています。」と「自分で勉強の計画を立てています。」の項目の肯定的回答を5%以上向上させる。

(2) 教科

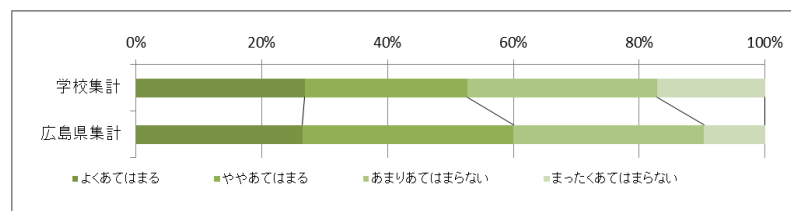
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



文章を式で表したり、式にあてはまる問題を作ったりすることが好きです。



算数の授業では、理由をあげて自分の考え方や解き方を説明しています。



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎ 国語の授業では辞書を使って調べる児童54.8%と少ない。 ◎ 国語の授業で、メモを取りながら聞くことがあるという児童が、47.3%と少ない。 ◇ 意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てをくふうしている児童が52.8%と少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科の授業などでは、わからない言葉があるときには、すぐ調べられるように辞書を手元に置いて学習することを継続する。</li> <li>国語科のスピーチ発表や総合的な学習の時間の発表などの機会を捉え、メモを取りながら聞く習慣を身に付けさせる。</li> <li>国語科の授業を中心に、小中一貫ステップアップ表を用いて、話型や言語技術を用いた表現の場を設ける。</li> </ul>
算数	◎ 文章を式で表したり、式にあてはまる問題を作ったりすることが好きな児童が55.9%と少ない。 ◎ 授業中、理由や根拠をあげながら自分の考え方や解き方を説明できる児童が、52.7%と少ない。 ◇ 算数の勉強が好きな児童が56.9%と少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章問題では、解かっていること・尋ねられていることに線を引く習慣を身につけさせ、演算を選択する際の助けとなるようにする。また、問題作りをさせる機会を増やす。</li> <li>授業では、ことばや式、図、表、数直線、線分図など多様な表現方法を使って、自分の考えを説明させるようにするとともに、「なぜそう考えたのか」という切り返しの発問を意図的に行うようにする。</li> <li>西小学習パターンに沿った「わかる・できる」授業づくりを行い、達成感を持たせ、自己肯定感を高める。</li> </ul>

来年度の目標値	目標値
	来年度のアンケートにおいて上記の項目の肯定的回答を5%以上向上させる。

指導改善のための実施スケジュール

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
	Plan		Do			Check		検証	Action		Check
	結果の分析・H23の改善計画の見直し H24の改善計画の実施							次年度の計画			
	学年による習熟度別学習（西風タイム）の推進										
【教科】	国語	指示語・接続語・文章表現等に注意して読ませることによって、段落相互の関係をとらえさせる。					チェックテストの実施 （一人一人の定着状況の把握）		→		
		漢字の習得について、各学級の児童の実態把握を行い、止め、はねなど、細部まで注意させながら、定着に向けて工夫して指導する。							チェックテストの分析・改善計画		
		のびっ子タイムの実施 方法・内容の検討		漢字ドリルを活用し、読み書きの徹底を図る。							
算数	前時の学習を想起する場面や、問題解決の方法を考えたり意見交流をしたりする場面において、意図的に用語を使用させて、理解を深める。					チェックテストの実施 （一人一人の定着状況の把握）		→			
	図形の定義を習熟できるよう、のびっ子タイムで反復練習をしていくとともに、掲示物を活用し、視覚的なイメージを捉えさせるようにする。面積や体積を求める際には、ことば、数、式、図を対応させて説明させるようにする。							チェックテストの分析・改善計画			
	のびっ子タイムの実施 方法・内容の検討		ルートくれを活用し、基礎基本の習熟を図る。								
【生活・学習】	「家庭学習の手引き」等を使って、予習復習の習慣を身に付けさせる。							→			
	計画的に学習に取り組むことができる課題（宿題）提示に工夫する。							児童アンケート実施・検証			
		★学年懇談会で、基礎・基本定着状況調査の結果を報告する。			★個人懇談会で学習状況等について確認する。				→		
									学習習慣アンケート実施・改善		

